

ご挨拶

謹啓 このたび調布市民放送局が任意団体から正式にNPO法人調布市民放送局となりました事をご報告させていただきます。これまで皆様から任意団体 調布市民放送局に一方ならぬご支援を頂きました事を御礼申し上げます。このNPO法人化を機に調布市民放送局局員一同さらなる精励を期し、皆さまのご要望にお応えできるよう努力致してまいります。何卒従来に増してのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。 謹白
特定非営利活動法人(NPO 法人) 調布市民放送局 代表 沖田博則

4月28日、東日本大震災から49日が経ちました。全国各地で49日の法要が営まれる中、調布市深大寺でも1日法要が執り行われました。

月が替わり5月1日、調布八景で有名な国領神社で、「国領千年乃藤まつり」が地元の有志が集まり、東日本大震災復興支援チャリティーイベントとして行われました。後日、番組で放送する予定ですので、ご覧ください。

♪ご隠居さんのひと言

未曾有の大災害、『自粛』も“過ぎたるは、なお及ばざるが如し”

「〇〇イベント中止」、「XX コンサート秋に順延」、このようなお知らせが毎日のように届く。この度の東日本大震災では、地震・津波に加えて、福島原発事故も発生し、想像を絶する甚大な被害をもたらした。4月1日に報告された、11年版外交青書では「戦後最大の国家的危機」とも表現されている。スポーツ界でも、Jリーグが中断、プロ野球が開幕延期などの影響がでている。このような状況でも、いつも通り春は訪れ、何事も無かったように、桜前線が北上している。しかし、東京では、石原都知事の、「飲んで歓談するような状況じゃない」発言の影響もあってか、「さくらまつり」を中止した上野公園を筆頭に、夜桜見物はもちろん、昼間の花見も低調だったようだ。また、三大祭の一つである「三社祭」、「神田祭」や、夏の風物詩「東京湾大華火祭」の中止も発表された。『自粛』ムードが広がっている。幼少の時代を浅草で過ごした筆者にとって、「三社祭」の中止決定はいささか、判断が早すぎたのでは？ と思う。なんせ、観客動員数が100万人以上とも言われている。通常通り挙行し、ここで義援金を集めたら、など、下衆の心根でつい、計算してしまう。

ここ調布でも、たづくりなどの公共施設への地震の影響などもあり、わいわいサロンの「地域デビュー歓迎会」など、いろいろなイベントがキャンセルになっている。また、毎年この時期にぎわう、歓送迎会や謝恩会なども、広がる『自粛』ムードで、予約のキャンセルが続出、中にはキャンセル率90%を超える店もある、とのこと。その後、時間の経過と共に、“行き過ぎた自粛により国民の消費活動が停滞するのは日本経済や被災地の復興にもマイナス”との声も大きくなっている。

東北を応援する具体的動きとして、「布多天神」境内で茨城県産野菜の直売会が行われたり、市内のレストランでは、「義援金付ランチ」や「チャリティービール」などもメニューに加えている。おいに、できれば市内で、節電は忘れずに、節度有る消費をして経済を回そうではないか(我欲の買占めなどは論外)。マスコミやYoutubeにもたびたび登場したが、東北のお酒“南部美人”の蔵元が言うように、みんな、意識して東北産品を手にするようにしましょう。

さて、今晚は、「南部美人」と牛タン、笹かまぼこで一杯やっか?? (調布のご隠居さん)

★ご意見・ご感想をお寄せください！！

★大募集◎番組制作メンバー◎運営メンバー◎会員・賛助会員・法人会員
◎資金・場所などを支援くださる方 等々

♪その時、調布の外国人たちは？

東日本大震災から二ヶ月を迎えようとしている。復興に向け、前を向いて生きていこうとする被災地の人々の懸命でひたむきな姿に、頭が下がる。

300 キロ以上離れた調布でも、3・11を境に街の様子が変わった。節電のためかどこもかしこも暗い。そして、外国人の姿が減った。遠く離れた九州の大学でさえ、外国人留学生の数が激減していると聞く。そこで、「調布市国際交流協会」と「調布日本語ボランティアの会」の協力を得て、調布に住む外国人が3・11に何を思い、何を求めているかを聞いてみた。両会合わせて40人近くの日本語学習者が、震災後一時帰国または帰国していると言う。帰国せずに調布で日本語を学びながら生活している学習者10数人に聞くと、全員が、本国の家族や友達から帰国を勧められている。その主な理由は、やはり、原発の放射能漏れを心配してとのことだ。本人たちも放射能漏れが一番心配だと、口を揃える。また、外国で災害に遭ったとき、どんな助けがほしいかとの問いに、正確で詳しい情報と精神的なサポートと言う答えが目立った。

まだ、日本語も充分とはいえない時に、恐怖や不安を分かち合える友人もいない異国でのこの震災の体験は、どんなに不安で心細いものであったろう。

前出の両会でも災害時のサポート対策は考えられているが、個々が、日頃から海外からの隣人にも心を配り、声を掛けて、いざという時に心強い隣人になりたいと思う。(chun)

♪「八日目の蟬」の試写会をみて

調布市民放送局では、日活撮影所のご協力を得て、調布市民駅伝競走大会の番組制作などで日活芸術学院の学生さんと一緒に活動させていただいております。

この度、日活撮影所さんからお誘いをいただき「八日目の蟬」の試写会に参加することが出来ました。今、NHKの朝の連続テレビ小説「おひさま」のヒロイン井上真央が主演で、共演の千草役の小池栄子がキーパーソンとしてストーリーをしっかりと引き締めていると思えました。あかごを誘拐しその誘拐犯の女が捕まるまで4年間育てられたその子は実の母親を母親として慕えないまま成人になっていく過程を母性愛、親子の愛、そして社会の不条理と男女の不条理を絡めた脚本と構成は見る者を引きつけます。さらに映像に引きつけられたのは殆どの場面をロケで撮っていると言う事と後半の小豆島のロケーションが素晴らしい。千枚田(段々畑)、中山虫送り(今は行事としてはやってないそうですがモウソウ竹に火をつけて振りながら千枚田をおりてゆく行事)、農村歌舞伎、などオリーブの産地としても有名な小豆島の絶景が盛り込まれています。また、エンジェルホームとかいうカルト集団が出てくるところはスリリングです。2時間半の映像に吸い込まれました。一言でいえばこの映画は皆さま必見の素晴らしい映画です。(オキータ)

【耳よりなお話】 調布市民放送局の番組に出演・ご協力いただいた方々の情報です。

★中川平一個展

日にち:5月16日(月)~22日(日)

時間:10時~18時

場所:たづくり2階 北ギャラリー

問合せ先:中川平一 042(483)9226

★第16回京王沿線ふれあいのハーモニカコンサート

日時:5月15日(日)13時~(12時30分開場)

場所:たづくり くすのきホール 参加無料

主催:京王沿線ふれあいのハーモニカコンサート実行委員会

問合せ先:実行委員会事務局代表

古川皓一 090-8945-4413

【こんなご協力をいただいております】

照明機材:㈱アークシステム マイクロホン:アツデン(株) カメラ:㈱StudioDU

サーバー:国立大学法人電気通信大学、(株)アニー

その他多くの方にご協力を頂いております。ご協力に感謝申し上げます。

♪FC 東京応援記 J-リーグ再開に向けて

Jリーグは、4月23日に再開される。我がFC東京は、4/24(日)アウェイでJ千葉と戦う。さあ、いよいよ、との思いが強かったが、直前にバッドニュース!! “J1 復帰へ向け FC 東京に暗雲…平山が右足骨折で最長半年間の離脱”(SOCCER KING)。チームのHPによると、病名:右脛骨および腓骨骨折で、全治:約4~6ヶ月間、とのこと。まず、前半戦は無理だろう。FW陣の柱を失ったことは大きな痛手。加えて、ペドロ ジュニオールと石川選手が別メニューで調整中、ロベルト セザー選手の来日遅れ、などと聞くと不安がイッパイ!! 平山抜きでは、戦術、フォーメーションの大幅な見直しも必要になるだろう。でも、ご安心あれ。

1週間後にJリーグ再開を控えた16日(土)に、小平グラウンドでJ1のV甲府と練習試合が行なわれた。この日の観戦者が800人以上、とのことで、再開が待ちきれない多くのサッカーファンが押し寄せた。結果は、FC東京 5-1 V甲府(45分x2では4-0)と快勝。いろいろなフォーメーションを試した中で、機動力をベースとした新しい得点パターンが生れた。平山の代わりに抜擢された高松選手と谷澤選手、今年加入の両選手がうまくチームに機能した展開。大熊監督談「もちろん平山が欠けたのはマイナスだが、逆にみんながそれを補おうという姿勢を見せてくれた」。

その後、FWのロベルト・セザーも来日し、千葉戦(フクアリ)に向け順調な仕上がりを見せている、とのこと。こちら、乞う、ご期待!!

ネットで恒例の順位予想を拾ってみると、“今季のJ2ではFC東京の優勢は揺るがない”との声が多い。しかし、思い出したくもない、昨年のケースもあり、サッカーは何が起こるかわからない。心してかからねば、とあらためて思う。

余談だが、“ff(フォルティシモ)~We Are The 東北~”の中で、仙台出身の今野泰幸選手が調布在住の中畑清氏などと共に、登場している。テレながらの口パクは必見もの。YouTubeで見られるので是非ご覧あれ。なお、コンちゃんは、AKB48の3人組ユニット「フレンチ・キス」の震災復興応援ソング『君なら大丈夫』のミュージックビデオにも出演しているらしい。もてもてでうらやましいが、ぼちぼち、サッカーに専念してもらいたい。(調布のヨーコ)2011年4月21日



♪防災非常用袋の中身は自分なりに考えて揃える。

揺れが起きて「地震だ!」と思ってもほとんどの人は周りを見回し揺れがおさまるか大きくなるかを見極める。その間2~3秒じっとしている。緊急地震速報は初期微動P波を感じて発信される。主要動のS波が来るまでに10数秒かかる事を利用した速報である。従って先ず身の安全を確保するだけの時間であり、判断が遅れたり俊敏な行動が出来ない人は瓦礫の下敷きになってしまうことになる。ここで非常用袋について考えてみると、先ず身の安全を確保したのちに持ち出す物だと言うことになる。それでも災害には欠かせないものであり準備しておく必要がある。一家に一つは、とか宣伝しているが、筆者は人数分は必要と考える。過日ホームセンターにどんなものがあるか見に行ったが売り切れで棚には値段表だけがぶら下がっていた。しかし非常用袋の中身は袋ごとセットになっているから大丈夫、と言うことにはならない。年齢、健康状態を考えただけでも必要な物は全く違うはずである。災害に遭遇する季節にもよるのである。そこで中身は自分なりに考えて揃える事。でなければ言い過ぎかもしれないが、いざと言う時に枕を抱えて飛び出したのと同じになる。もうひとつ効果的な準備としてポケットが沢山ついている釣り用ジャケットに必要な小物を入れておくと、そのジャケットを着てリュックを背負って飛び出す事ができる。(オキータ)

<調布市民放送局ニュースが手に入ります>

- ◆図書館(本館、分館) ◆教育会館 ◆調布 FM ◆調布市商工会館 ◆調布市総合福祉センター
- ◆深大寺 ◆市民活動支援センター ◆居酒屋『淡菜房』 ◆ジェイコムショップ ◆INNO

2011年5月 番組表

< 調布市民放送局の番組を見ることができます >

- ◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」
- ◆ 調布市観光案内所『ぬくもりステーション』(一部番組のみ)



調布 C A T C H J:COMにて放送 (放送日時の変更有り)

月	火	水	木	金	土	日
11:10 18:54	11:10 18:54	11:10 18:54	11:10 18:54	11:10 18:54	11:25 18:55	11:25 18:55

テレビ番組

1日	①電気通信大学ジャグリングサークル ぱさーじゅ 今や学内外で有名になったジャグリングサークル取材しました。華麗なパフォーマンスを目指して、どんな練習をしているのでしょうか。
15日	②リトルギャラリー 部屋のインテリア～動物の木工細工～ 木のぬくもりを感じる動物や昆虫たちの作品です。廃材やかまぼこ板をリサイクルして作りました。
16日	③調布で桜の綺麗な通りから、2箇所をご紹介します。
31日	① ちょうふ子育てネットワーク“ちょこネット” 子育てする人と、子育てを応援する人。みんながつながる、「ちょうふ子育てネットワーク『ちょこネット』」が始まりました！
	② 双花はな 視覚障害者の生け花を創る会 「私も生け花をしてみたい」という一人の視覚障害者の声をきっかけに設立された会をご紹介します。
	③ 刀版紙工房～水性木版画制作～ 水性木版画の「彫る」「摺る」技術を楽しみながら、制作過程をマスターできるサークルです。



ラジオ番組

調布わくわくステーション(略称 わくステ)		
調布FMにて放送 <83.8MHz> 毎週火曜日 21:30~21:45		
3日	鵜沢 秀行さん (演出家)	“演劇シリーズ”第1弾 調布には多くの文学座の関係者が住まわれています。文学座の演出家でもあり、俳優さんに、演劇の奥の深さをお聞きしました。
10日	増岡 裕子さん (女優)	“演劇シリーズ”第2弾 文学座の女優としてスタートしたばかりの、増岡さんに、女優になられた足跡を、たどっていただきました。
17日	戸井田 稔さん (俳優)	“演劇シリーズ”第3弾 文学座の俳優さんに、演技の真髓を教えていただきました。どんな世界にも通用しそうなお話しに、考えさせられました。
24日	三坂万理子さん (FAWA 事務局長)	17年間に渡り、ご両親4人の介護をなさった経験から、介護者のケアの大切さを説き、今はフォローのボランティアをなさっています。FAWA 事務局長として国際的にも活躍されています。
31日	大館 瑛子さん (バレエ指導者)	仙川でニューヨークスタイルのバレエを教えていらっしゃる大館さん、バレエについていろいろなお話しを伺いました。

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ることが・聴くことができます。

<http://www.chofu-catch.tv/>

調布市民放送局

検索

【編集後記】 あの日、津波が攫った東北の野辺にゆかしく咲いたスマイレ草。良くも悪くも、大地は胎動しています。被災地の人々も、復興に向かって歩き始めました。調布に住む私達は、日常の暮らしのなかで、未永く支援して行きましょう。(romi) [編集・発行]調布市民放送局 catch@chofu-catch.tv